

第662回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 鹿児島北バイパス整備事業

鹿児島市吉野町～小川町

- ・国道10号は、北九州を起点として、大分、宮崎を経由し、鹿児島市に至る延長約450kmの東九州を縦断する重要な幹線道路。
- ・「鹿児島北バイパス」は、鹿児島市吉野町から小川町に至る延長約5.3kmの4車線のバイパス事業。
- ・現道は2車線で、慢性的な交通混雑が発生。また、鹿児島市内と県内各拠点間の物流を担う重要な路線であるが、狭幅員箇所やS字クランク箇所など、大型車が離合困難な箇所が存在。これら交通混雑の緩和や物流の効率化等を目的として実施する事業。



完成イメージ

2. 牛根麓漁港浮防波堤〔H29年全建賞〕

垂水市牛根麓

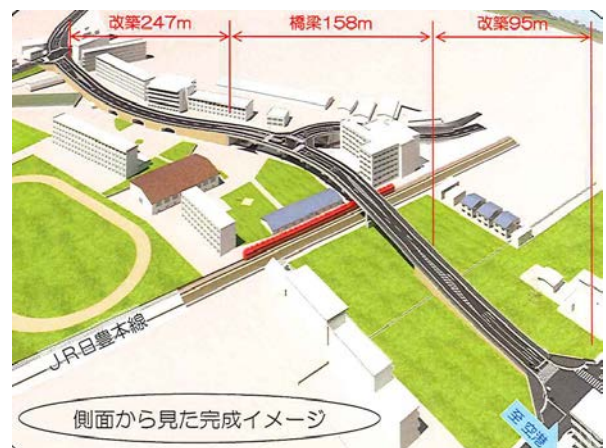
- ・鹿児島を代表する桜島は、1914年の大正大噴火のときに流下した溶岩により海峡が埋め立てられ、大隅半島の垂水市と陸続きになった。牛根麓漁港は、その接続部にできた水深が深く楔状の海域を利用した天然の良港。
- ・漁業活動に必要な岸壁、用地が不足し、陸揚げは漁協や漁業者が建設した専用棧橋を利用し、漁船の係留は沖停泊によるなど、危険で非効率な漁業活動を強いられている。
- ・防波堤や公共岸壁、用地の整備を計画し、先行して静穏度を確保するための北防波堤を設置した。
- ・海底地形が急峻で最深部の水深が90m以上と深く、北防波堤の桜島側57mを除き、基礎が必要ない浮防波堤形式で、L=55m×3基配置した。
- ・この事業は、水中ロボットと大型起重機船のGPS機能を用いて設置水深90mの場所に当初計画通りの精度でアンカーブロックを設置した点や、浮体構造のため海水交換が行われやすく、漁港内の良好な水質環境の維持が図られ、漁港の衛生管理にも貢献している点、海面から天端までの高さも70cmと海面と一体性があり、背後の桜島等の景観に溶け込んでいる点が評価され平成29年全建賞を受賞。



3. 街路事業 新町線2

霧島市隼人町

- ・大隅半島と鹿児島空港を結ぶ重要な幹線道路。
- ・現道は、変形5差路交差点や踏切が、車両の円滑な通行の障害となっており、慢性的な渋滞が発生している。
- ・都市計画道路のバイパス部が未改良であり、交通ネットワークの連続性が確保されず、交通のネックとなっていた。
- ・バイパス整備により、変形5差路交差点及び踏切を通行する必要がなくなり、渋滞緩和と安全性の向上が図られる。



側面から見た完成イメージ